

陳 情 文 書 表

受 理 番 号	陳 情 第 4 3 号
件 名	秋葉区矢代田駅周辺地区土地区画整理事業の促進を求めることについて
要 旨	<p>秋葉区矢代田駅周辺地区土地区画整理事業、仮称駅裏開発は、8年前の平成28年8月、2人の新潟市議会議員の親切過ぎるお力添えをいただき、総事業費10億3,800万円、事業は平成30年3月31日完成、新潟市から4,300万円の土地区画整理事業助成金を頂きスタートしました。</p> <p>しかし、最初から問題を抱えた開発事業であったゆえ、令和5年11月現在、事業は全く進んでおらず、現場は草ぼうぼうで土地開発の現場とは想像できない状態で放置されています。真っ当な駅裏開発と開発事業の早期完成を願い、再三にわたり議会に対し早期促進の陳情を行うも、議員の無知無能と無責任から陳情は不採択とされてきました。その背景を勘案すると、駅裏開発には2人の同僚議員が深く関与していた関係から陳情不採択の選択となり、正義が踏みにじられた結果となりました。</p> <p>また、令和5年9月定例会の陳情第21号矢代田駅周辺地区土地区画整理事業の過去と現状と将来展望については、議員の不勉強から執行部に全く責任がないとの理由で不採択とされました。この行為は、議員自らの責任を放棄する議員失格の作為であり、深く反省を求めたいと思います。誰の責任で事業が大混乱し、大幅な遅延となったのか、その原因を精査してこそ、議会及び議員の名誉と尊厳が守られるのではないのでしょうか。</p> <p>議会及び議員は、一度も地権者の組合員から詳しく話を聞かずに審議を進めて陳情不採択では、議会無用論が起こるのは当然であります。議会の権威を守り、市民から信頼される議会を構築するためにも、議会が地権者の組合員から直接生の声を聞くことを求め陳情いたします。</p>
付 託 年月日 委員会	令和5年12月4日 環境建設常任委員会
受 理	令和5年11月9日 第515号